

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年11月4日

【評価実施概要】

事業所番号	272400516		
法人名	社会福祉法人向明会		
事業所名	グループホームやすらぎの里		
所在地 (電話番号)	〒037-0304 青森県北津軽郡中泊町尾別字小谷18番地 (電話) 0173-69-2252		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 9月 26日	評価確定日	平成 20年 11月 4日

【情報提供票より】(平成20年8月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	5人, 非常勤 3人, 常勤換算 4.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(8月31日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	66 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	金木病院、井沼診療所、山口歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

保育所を改築した建物で、地域の中に設置されている。広々とした施設前のスペースには木製の椅子も設置され、天気の良い日は散歩中の休憩に利用されている。園庭は花壇・畑として手入れされ、季節の植物、野菜作りを楽しむことができる。居室スペースは広く、共有空間は天井が高く明るく開放的な雰囲気、畳のスペースもあり思い思いに過ごせる空間となっている。併設施設デイサービスの設備(浴室)を利用することで、デイサービス利用者や地域の方との交流が図られている。施設職員は利用者との関わりを大切に支援を実践している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で改善課題と上がった内容に関して、話し合いをもうけ、対応に努めている。自己評価の意義は職員全体で検討され、苦情処理フローの記載、利用者の状況に応じた介護計画書の見直し、定期的な病院受診、重度化についての同意書作成、食事の支援等に組み込まれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が外部評価の意義を理解し、職員各自が自己評価を行い、全体のまとめを管理者が行なっている。管理者、職員間との密なる話し合いの機会を設け、サービスの向上の取り組みに期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催されている。参加者(町役場職員・包括職員・民生委員・老人クラブ代表・有識者・家族代表)に施設の取り組みをお知らせしたり、行方不明捜索の依頼をしたりしている。また、意見を聞きながらサービス向上に向けて取り組まれている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>面会時、家族会、運営推進会議等での意見を受け止め、今後の支援に反映されるよう取り組んでいる。外部(家族・面会者等)からの今以上の意見の吸い上げ方法の工夫を期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の老人クラブや婦人会と合同で夏祭りを開催したり、慰問等があれば老人クラブ・デイサービス利用者へも声掛けし、一緒に見学したりして交流を図っている。又、近所の方達のお手伝いで園庭の花壇・畑を作り、気軽に立ち寄りもらえる関係を構築されている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着化させたサービスも含め、利用者一人ひとりがその人らしく生活できるように具体的な理念の構築がされている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	名札の裏に6項目からなる理念を記載しており、職員は日々理念を意識し取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の老人クラブや婦人会と合同で夏祭りをしたり、慰問などがあればデイサービスや老人クラブなどにも声掛けをするなど積極的に交流されている。又、近隣の農家の方たちが敷地内にある畑の手伝いに立ち寄るなど、地域の方たちとも気軽に立ち寄ってもらえる関係を構築されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員での自己評価の実践がなされ、前回の改善点である定期的な健康診断の実施やマニュアルの整備など具体的な改善に取り組まれている。</p>		<p>管理者、介護職員との更なるサービス向上に向けた話し合い・取り組みを期待したい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町職員、包括職員、民生委員、老人クラブ代表、ご家族の参加にて開催され、ホームからの日頃の日常生活のお知らせ、非常事態時の捜索について等報告され、他の意見等は随時検討されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議のメンバーとしての参加が見られている。中泊地区ケア会議に参加しており、各事業所の職員や市町村担当者と運営・サービス向上等の連絡・相談・意見交換の機会を得られている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者が研修会に参加し、職員会議、家族会等で説明し、周知を図り、いつでも相談・活用できる体制になっている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎年職員が交代で研修会に参加し理解を深め、資料はいつでも目を通せる体制となっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書・重要事項説明書の内容に関しては苦情処理フローの記載等も行われている。契約時には利用者・家族に対する十分な理解・納得に努められている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回、ホーム便りを発行し個別に健康状態や写真による行事への参加状況等を差し替えてお知らせしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を設け意見交換・報告を行い、また家族会代表が運営推進会議に参加し意見表明をしている。以前は意見箱を設置していたが、利用がないので撤去した。</p>		<p>利用が無いからと意見箱を撤去してしまうのではなく、会議以外にご家族からの意見・苦情を吸い上げる方法を工夫することに期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現在職員の離職は無い。棟続きのデイサービスが開設された時に看護師の異動があったが、引き続き利用者の健康管理にかかわっていた。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修へ参加し、参加後には報告書を作成し、会議の場で発表し、施設内研修の機会を設けられている。		外部研修参加への職員の希望を聞いたり、施設内での学習会を設ける等計画的に研修の機会の確保を期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西北五地区グループホーム協会に加盟され、年2～3回勉強会や情報交換の機会を得られている。また、協会の理事を務められており、活動を通じて地域同業者とのネットワークを広げサービスの向上に取り組まれている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	今年よりセンター方式を取り入れ、利用者、ご家族の意見を取り入れています。今までの生活歴、身体状況の記録がないため、職員との関わり、信頼関係の構築が見られない。		利用者・ご家族の協力を得ながら、細やかな情報収集にて、段階的に信頼関係を構築され、知り得た情報は記録に残し全職員での検討が望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の方々は思い思いの時間を過ごされ、職員はそれを見守りながら援助を行い、共に支えあえる関係作りに留意されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との日常の会話や関わりを大切にされ、また、ご家族からの思いを伺い利用者の思いを確認しながら支援されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用し細かく観察され、利用者・ご家族の意向が盛り込まれた介護計画を作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しはもちろん、利用者の変化を見逃すことなく随時検討し状態に応じた介護計画が作成されている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>併設施設のデイサービスの広い浴室を利用したり、合同の慰問見学、施設車両での外出等活用されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・ご家族の希望するかかりつけ医となっている。定期的な受診・専門医の受診の支援をおこない、ご家族への報告も密にとられている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、利用者、ご家族に説明し同意を得ており、重度化に応じて説明し同意書を変更している。又、かかりつけ医の協力も得られている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについては本人、ご家族に説明し同意を得ている。近隣からの利用者が多いにもかかわらず、写真の掲載や面会簿記入への配慮が不足している。		個人が特定される物、前回誰が面会に来たのかなど、氏名が掲載されている用紙等の使用は避けることを提案します。また、マニュアル等を作成し、学習会などにより、プライバシーの確保について、定期的に見直しすることを期待したい。
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースや気分・体調にあわせ行動に添うような支援をされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>仲の良い利用者同士のテーブルや一人静かに食べられるテーブルなど入居者の希望に応じて設定している。食事の準備から後片付けまで、利用者の体調やできる範囲で一緒に行ない食事を楽しまれている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>併設施設デイサービスの大浴室を利用し週4回実施日が設けられている。又ホーム内の浴室は、利用者の希望により足浴や失禁対応が出来る体制を整え支援されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個人の得意分野で力が発揮できるよう支援され、敷地内にある花壇や畑などで思い思いに楽しまれている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>1人ひとりの楽しみごとや希望に添って支援され、散歩、ドライブ、買い物、町内のイベント等いつでも個別に参加できるよう支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを設置している。身体拘束のない介護を実践されている。		身体拘束のない介護を実践されているが、今後は更にマニュアルの見直し、学習会にも取り組み、全職員へ周知徹底をすることが期待される。
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けず自由にしている。離園への配慮は行なっている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回行い内1回は消防署と連携し防災訓練を実施されている。		地域の消防団や地域住民へ災害時対策に関する理解を求め、協力体制を築いていくことを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節感あふれる献立を立てており、一人ひとりの食事摂取量、水分量はケースに記録し把握に努められている。		季節感ある食事、摂取量の把握に努めているが、時に献立表の見直し、平均的な摂取カロリーの把握も期待したい。
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルの設置があり、食事の前に手洗いと消毒は行い感染予防に努められている。		年間を通じ感染症発生状況の情報収集に努め、速やかな予防・対応が行われるためにもマニュアルの見直し、学習会等にて職員全体への周知徹底を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は天井が高く、開放的な雰囲気となっている。季節感を出す壁画を工夫するなど、利用者はゆっくと過ごされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>以前から使い慣れた家具の持ち込みも多く、利用者の居心地の良さ、家庭的な雰囲気となっている。</p>		

 は、重点項目。